資料　4

中国運輸局・中国地方整備局の取組
～心のバリアフリーを中心として～

令和7年7月

国土交通省 中国運輸局 共生社会推進課
国土交通省 中国地方整備局 企画部企画課

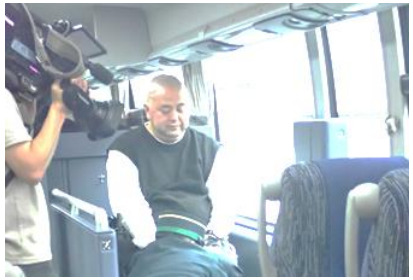
【中国分科会】バリアフリー教室の実施①（エレベーター付きリムジンバス発表会）

国土交通省

○日　時：令和6年4月24日（水）10:00～11:15
○場　所：広島合同庁舎　海技試験場横
○参加者：中国運輸局バリアフリープロモーター
　　NPO 法人日本頸髄損傷LifeNet 理事長　徳政宏一　氏
○主　催：広島電鉄株式会社、中国運輸局
○内　容：エレベーター付きリムジンバスの体験試乗
　　バリアフリープロモーターによる講話

◆取組のポイント◆
・中国地方初導入の「車椅子用エレベーター」、「車椅子スペース」を備えたリムジンバスの体験
・中国運輸局職員への「障害の社会モデル」、「心のバリアフリー」の啓発

バリアフリーバス車両の説明 → **バリアフリープロモーターによるデモンストレーション①** → **バリアフリープロモーターによるデモンストレーション②** → **バリアフリープロモーターによる講話** → **中国運輸局職員による体験試乗**



《徳政氏による講話》※一部抜粋
「23年ぶりにバスの車窓から景色を見ました。**心のバリアフリーについては、お互いの配慮の気持ちのマッチングだ**ということ、お互いが優しい気持ちで支え合うことで共生社会を生み、バリアフリーをより良いものにしていくことになると思います。」
今回のエレベーター付きバスはそのような思いから生まれたものであり、**障害当事者にとって国内、国外で旅行するという夢が広がる**ことを強調されていました。

《参加職員からの感想》
・旋回するスペースが十分にあり、昇降の際の揺れもほとんどなく、**とても安心して乗車できました**。また、運転手の方が常に声かけをしてくださり、**心のバリアフリーも肌で感じられる貴重な体験**でした。

《総括》
・先進的なバリアフリー車両をバリアフリープロモーターである車椅子利用者に体験していただいた。リフト付きに比べて、囲われていることから、安心感が増し、好評であった。
・中国運輸局職員を対象にした講話や体験を行うことで、障害の社会モデルや心のバリアフリーへの意識を向上させることができた。

【中国分科会】バリアフリー教室の実施②（広島空港バリアフリー教室）

国土交通省

広島空港バリアフリー教室

○日　時：令和6年6月28日（金）13:20～15:00
○場　所：広島空港旅客ターミナルビル2階
○参加者：三原市立本郷西小学校4年生　30名
○主　催：中国運輸局
○協　力：三原市本郷西小学校、社会福祉法人三原市社会福祉協議会、広島国際空港株式会社、
　　広島電鉄株式会社、大阪航空局広島空港事務所
○内　容：地元の小学生を対象にした広島空港内でのバリアフリー教室

◆取組のポイント◆
・車椅子利用者による直接の指導と対話
・生徒自らバリアフリーについて考えること

①講師による講話 → **②車椅子体験** → **③バリアフリークイズ** → **④バリアフリートイレ見学** → **⑤エレベーター付リムジンバス体験・見学**

《講師による講話》※一部抜粋
「戸を開けてあげるとか、ものを拾ってあげるとか、**みんなができることをすることで、もっともっとバリアフリーになるんじゃないかなと思う**。助け合いの心がバリアフリーだと思うので、みんな助け合って生きていきましょう。」
児童はバリアフリーについて事前学習をしており、すべてのプログラムに積極的に取り組んでいました。特に講師への質問コーナーでは多くの児童が手を挙げており、**車椅子ユーザーのことを知ろうとする姿勢が見られました。**

《参加児童からの感想》
・車いすに乗っている人は上の物と下の物がとれないとわかりました。
・ヘルプマークや耳マークを初めて知りました。
・段差を乗り越えることよりも、落ちている物を拾う方が大変だった。しかし、それは車椅子を押してくれる人がいたからだと思う。助け合いの重要性を感じた。
・大本先生が、一番くやしいことは行きたいお店があっても行けないと言っていてぼくも、そうだったらとってもつらいと思いました。
・他にもどんな工夫で出来ているバリアフリーがあるのか知りたいです。
・もしえんぴつを落としていたら、拾ってあげるのではなく、やさしく声をかけたりお願いされたら拾ってあげようと思います。
・こまっている人がいると、こえをかけるのが少しはずかしいけど、たすけてあげたいです。たすけられるようになりたいです。

【中国分科会】バリアフリー教室の実施③（安田女子大学バリアフリー教室）

国土交通省

安田女子大学バリアフリー教室

○日　時：令和6年10月24日（木）13:00～15:40
○場　所：安田女子大学
○参加者：安田女子大学 公共経営学科 1年生 40名
○共　催：中国運輸局、安田女子大学
○協　力：広島交通株式会社
○内　容：大学生を対象にしたバリアフリー教室

◆取組のポイント◆
・実際のバス車両を利用した当事者体験
・以下をテーマにしたグループディスカッション
①当事者がバスに乗って映画を見るなら、どんな困難が想定されるか
②合理的配慮をめぐる事例で当事者が批判されたのはなぜなのか

①障害の社会モデル、心のバリアフリーについての説明 → **②バスのバリアフリー機能説明** → **③バスを使った当事者体験（車椅子、妊婦、子連れ）** → **④高齢者体験** → **⑤合理的配慮をテーマとしたグループディスカッション**

《テーマ①の意見》※一部抜粋
・車椅子だと目線が低いので、映画館の最前列でないと映画を見ることはできない
・子連れだと、上映中に子どもが泣いてしまうかもしれないので、防音の個室がほしい
・券売機の操作を高齢者でもわかりやすいようにしてほしい

《テーマ②の意見》※一部抜粋
・「合理的配慮」という言葉や、事業者が義務を負うことに対しての認知度が低い
・一人一人の価値観が異なるため、「合理的配慮」と「過重な負担」の範囲の線引きが難しい

→学生に対し、「建設的対話」の重要性を伝えた

《参加学生からの感想》
・障害の一日体験をして色んなとこに行ったら何が不自由なのか想像だけではわからないことがわかるため啓発につながると思います。
・実例をもとにディスカッションをした点が、いつもの生活に当てはめて考えやすかったのでよかったです。
・コミュニケーションをとりながら、誰かの支えになれる ような心の豊かさを持っていたいと思いました。
・子供連れ体験をしてベビーカーを持っていると乗り降りも大変で、乗ってからも周りに迷惑をかけないようにと考えるのが大変だと思いました。

【中国分科会】バリアフリー教室の実施④（第25回ひろしまバスまつり）

国土交通省

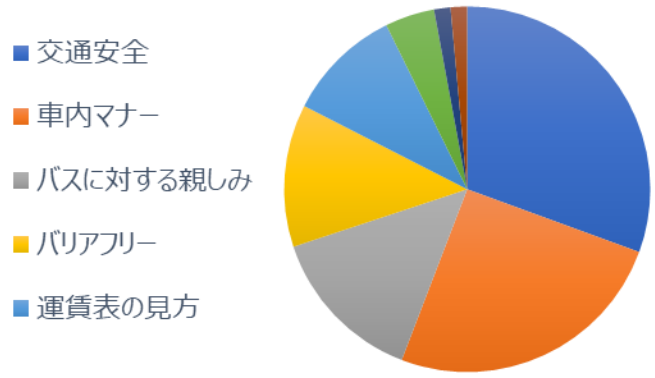
○日　時：令和6年12月1日（日）9:30～15:30
○場　所：広島市中小企業会館
○参加者：主に未就学児、小学生
○主　催：中国運輸局(※)
　　芸陽バス株式会社 広島電鉄株式会社 広島交通株式会社
　　広島バス株式会社 HD西広島株式会社 中国JRバス株式会社(順不同)
○内　容：以下のとおり※一部抜粋

◆取組のポイント◆
・多数の地域バス会社と連携
・公共交通の利用促進とバリアフリーの啓発を同時に実施

※ひろしまバスまつりの主催は、
ひろしまバスまつり実行委員会および広島県バス協会

バスの乗り方説明	バス車内のマナーの説明	バリアフリー設備の説明（スロープ）	バスの乗降体験	バスに関連するバリアフリークイズの実施

《アンケート結果》
今回の教室で学べたことはなにか。



《参加者からの感想》
・日頃バスに乗ることがあるが、何故静かにするかなどの説明が良かった。
・マイク(車外のインターホン)の使い方は、私自身も分からなかったので勉強になりました。
・子どもが楽しかったと大変喜んでいました。ありがとうございました。
・車イスが実際に見れてよかったです。

《総括》
・小さなお子様を対象としていたが、一緒に参加した大人もバスのバリアフリーについて知る機会となった。
・多くの親子連れの方々に参加いただき、公共交通の利用促進とバリアフリーの啓発を広く実施することができた。

【中国分科会】バリアフリー教室の実施⑤（中国技術事務所バリアフリー教室）

国土交通省

中国技術事務所バリアフリー教室

○日　時：令和７年５月９日（金）9:20～11:50
○場　所：中国技術事務所
○参加者：広島市立船越小学校５年生　73名
○主　催：中国運輸局、中国地方整備局
○協　力：広島市立船越小学校、芸陽バス株式会社、NPO法人日本頸髄損傷LifeNet　徳政 宏一　氏（講師）
○内　容：視覚障害者、車椅子、高齢者といった当事者体験、インフラＤＸ体験、バスの乗り方教室

◆取組のポイント◆
・専用施設を備えた中国技術事務所内での<u>バリアフリー体験</u>
・<u>中国運輸局・中国地方整備局</u>合同での開催

車椅子体験	視覚障害者体験	高齢者体験	バスの乗り方教室	インフラＤＸ体験 (写真はＡＲ体験)

《講師による講話》※一部抜粋

「まちなかで困っている人を見かけたら**『何かお手伝いしましょうか』と声をかけてほしい。**この一言でまちに笑顔が増えると思う」と徳政さんからのお話。

また、児童らは「階段があった場合はどうしているのか」など積極的に質問をしていました。

《参加児童からの感想》

・しかいが見えなくてびっくりした
・おじいちゃんまたはおばあちゃんに「はやく」と言っている人に教えたくなった。
・足も体も重くて見えにくくて高齢者の人の大変さがわかった。
・(視覚障害者体験では)こけそうになってこわかった。ついていた人が助けてくれて大丈夫だった。
・(車椅子体験では)坂を下りるときゆれてこわかった。
・(バスでは)車いすの人にとってのバリアフリーがよういされているのがすごいなと思った
(車椅子の人用に)席の下にボタンがあるとはおもわずびっくりしました
・障害者の方や高齢者の方がこまっていたら助けることが今日からできると思いました。

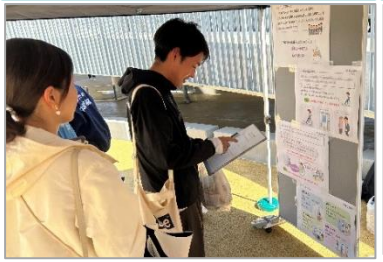
【中国分科会】サンフレッチェ広島ホームゲームにおけるブース出展

国土交通省

サンフレッチェ広島ホームゲームにおける「障害の社会モデル」と「心のバリアフリー」の啓発

○日　時：令和６年11月3日（日）10:30～13:00
○場　所：エディオンピースウイング広島　１階場外円形広場
○参加者：スタジアム来場者の皆様（500名以上！）
○主　催：中国運輸局　広島市
○協　力：株式会社サンフレッチェ広島
○内　容：試合会場にブース出展し、障害の社会モデルや心のバリアフリーに関するクイズ・展示を実施

◆取組のポイント◆
- **(株)サンフレッチェ広島、広島市、中国運輸局の3者申合せの取組として実施**
- **バリアフリーへの関心の有無や老若男女を問わず多くの方への啓発に注力**

SNSによる用語の啓発・イベントの告知	ブースの様子	エディオンピースウイング広島のバリアフリー設備紹介	“障害の社会モデル”“心のバリアフリー”の説明	場外大型ビジョンによる”心のバリアフリー”の啓発
				

参加者がバリアフリークイズに取り組む様子

《参加者からの感想》

・”障害の社会モデル“、”心のバリアフリー“について初めて知った。
・バリアフリーとは段差をなくすだけではないことが分かり、勉強になった。

《総括》

・ホーム、アウェイ問わず多くの来場者に参加いただき、バリアフリーを広く啓発できた。
・中国運輸局、広島市のバリアフリーに関する取組を知っていただけるきっかけとなった。

優れた取り組みの表彰

中国運輸局　環境保全及び交通バリアフリー等関係表彰【令和6年11月26日：表彰式】

中国運輸局では、高齢者・障害者等の円滑な移動等を確保する交通バリアフリー等の取組に尽力し、その功績が顕著であると認められる事業者・団体・個人に対して、表彰を行っています。

令和６年度　受賞者（交通バリアフリー等関係）

被表彰者 【交通バリアフリー等】	功績概要
西日本旅客鉄道株式会社 中国統括本部	フリースペースやセミコンパートメントなどの新しい設備や、車椅子スペース、バリアフリートイレなど様々なバリアフリー設備を取り入れた特急やくも新型車両を導入するとともに、試乗会や定期的な社員教育を実施するなど障害の社会モデルの実現に向けハード・ソフト両面からのバリアフリー化に積極的に取り組んでいる。
広島電鉄株式会社	令和6年5月、広島市中心部と広島空港を結ぶ路線のリムジンバスに、中国地方では初めて車椅子の乗客が乗り降りするエレベーターを備えた車両を1台導入した。令和2年には、同路線に中国地方初となるリフト付き車両も導入しており、障害当事者の移動の選択を広げ、障害の社会モデルの実現に向けハード・ソフト両面からのバリアフリー化に積極的に取り組んでいる。

啓発・広報活動について（心のバリアフリー）

国土交通省

高齢者障害者等用施設等（バリアフリートイレ、車椅子使用者用駐車場等、エレベーター、優先席）の適正な利用推進に向けてポスター等による周知キャンペーンを実施しています。

バリアフリートイレ

旅客施設等の
エレベーター

知ってください
子ども用車いす

車椅子使用者
用駐車施設等

車両等の
優先席等

啓発・広報活動について（心のバリアフリー）

国土交通省

心のバリアフリー推進・公共交通マナーアップキャンペーン

公共交通利用者以外にも広く“心のバリアフリー”を広めるとともに、マナーアップ向上をはかることで、誰もが気持ちよく利用できる公共交通機関を目指し、Twitter を利用した広報啓発の実施。

①実施期間：令和７年４月１日～４月３０日
②実施方法：キャンペーンチラシを中国運輸局の公式Xへ掲載し、周知先にリポストを依頼
③協　　力：・中国管内の５県・全市町バリアフリー担当課
・JR、鉄道各社、鉄道・バス・タクシー・旅客船など関係団体、ターミナル事業者

チラシ

リポスト：18
いいね：20
閲覧数：**7,002回**　※R7.7.3時点

外国人観光客のマナー向上を図るため、観光庁作成の周知動画を活用。
各市町村や交通事業者にリポストに御協力いただきました。

啓発グッズの配布

心のバリアフリーを広めるために、バリアフリー教室の他、多くの来場者が集まる各種イベントを活用し、心のバリアフリー啓発グッズを配布した。

令和6年度
配布数：**約2,474個**

配布イベント
・内航船員就職セミナー(鳥取県境港市)
・ボート不思議発見(広島県尾道市)
・きっずメカニックフェスタinとっとり(鳥取県鳥取市)
・こどもおしごと体験イベント(広島県三原市)
・ひろしまバスまつり(広島県広島市)

心のバリアフリーティッシュ

中国技術事務所におけるバリアフリー体験施設

◆中国技術事務所には、人材育成として バリアフリー体験施設が設けられており、**中国技術事務所ＨＰより体験学習の受付を行っています。**　（※２名以上の団体で、事前申込が必要）

国土交通省 中国技術事務所

◆体験施設として

①歩車道段差体験　②スロープ（傾斜路）体験
③車の出入口部での歩道体験　④歩車道段差確認
⑤高齢者疑似体験　⑥視覚障がい者誘導ブロック体験
⑦望ましい歩道体験

詳細につきましては、下記ＨＰをご参照下さい。
http://www.cgr.mlit.go.jp/ctc/jinzai/index.html

令和６年度実施状況

実施日：７月　９日　参加者：13名
実施日：９月12日　参加者：11名
実施日：10月10日　参加者：15名
実施日：１月30日　参加者：９名
実施日：２月26日　参加者：10名
実施日：３月　７日　参加者：49名